

動作確認チェックシート

検査日	2024年12月12日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	溶媒抽出器	電源電圧	単相100~120V,950W	再現精度	±1%
型式	ソクステストSER148	周波数	50/60Hz	溶媒回収率	70%
メーカー名	VELP SUCIENTIFICA	大きさ(W×D×H)	700×390×620mm	重量	40kg
機械Ser.No	不明	同時処理数	6検体		
製造年月	不明	サンプル量	0.5~15g 通常2~3g		

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○
6 データバックアップ	PLC (未対象) TP (未対象) BT交換 (未対象)	

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- (1)円筒ろ紙(一部破れ有)、抽出カップは各1個のみ付属。左から3番目のソクステストのシールパッキンはなし。
(2)左から4、5番目の円筒ろ紙セット上部にサンプル跡と思われる茶色い汚れあり。
- プログラムNo.1でプレート温度:260℃, ボイル抽出:50min, リンス抽出:50min, 回収:15minとし、抽出カップに純水を入れサンプルは投入せずに、動作を確認した。(22⇒260℃には約30minで到達。純水は260℃になってから沸騰した)一連のプロセスに特に問題はなかった。



左端のソクステストで確認



ボイル抽出



表面温度計

※ 前ユーザが抽出していたサンプルと溶媒は不明のため、ガラス内部のコンタミネーションは不問としています。
使用の際は、ガラスカラムの洗浄または交換。円筒ろ紙や抽出カップ、パイトンシールなどのアクセサリを準備

取扱説明書(有)

する必要があります。

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

SHIRASAGI入力

(備考欄コメント)

[責任者]

動作(条件付OK) 作業工数[8H]

検査担当者[野沢]

